

(3) 授業における ICT 活用

ア 家庭科における ICT 活用

平成 20 年の中教審答申において、教育の情報化が重要であると提言され、新しい学習指導要領では、情報教育や教科における ICT 活用に関する内容の充実が図られました。学習指導要領の内容を踏まえて作成された「教育の情報化に関する手引き」では、発達段階に合わせて情報教育を進めていく必要があることが示されており、高校段階では、情報手段を適切かつ実践的、主体的に活用できるようにするため、次のような学習活動を充実させる必要があると示されています。

- ◆課題解決に必要な情報を判断し、適切な情報手段を選択して情報を収集する学習活動
- ◆収集した情報について考察する学習活動
- ◆様々な情報を多面的に分析・整理し新たな情報を創造する学習活動
- ◆情報を効果的に表現・発信する学習活動
- ◆課題解決のための情報及び情報手段の活用について過程や結果を評価し改善する学習活動

高等学校家庭科においても、学習指導要領解説で、生活に関わる外部の様々な情報を収集・活用したり、データを整理したりする活動を行うことという内容が示されており、ICTの活用を図り、学習効果を高める工夫が求められています。

高等学校家庭科では、様々な体験的な活動や問題解決的な学習を行っており、「教育の情報化に関する手引き」で示されている学習活動の充実が図られるものと考えます。ICTの特徴である「双方向性」を重視し、授業の目標を達成するための活用の工夫が必要となります。

イ 「知識構成型ジグソー法」における ICT 活用

「知識構成型ジグソー法」におけるそれぞれの活動でどのようなICTの活用が可能か学習用PCを中心に考えてみました(表5)。全体への「問い」の確認や学習の流れを示すことについては、電子黒板で行うことが効果的であると考えています。

表5 「知識構成型ジグソー法」におけるICT活用例

活動	ICTの活用例
一人で考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを受け取る ・「問い」に対する答えを入力する
エキスパート活動	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットからデータを収集する ・エキスパート資料を紙ではなく、データで受け取る ・エキスパート資料から読み取ったこと、分かったことを入力する
ジグソー活動	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の意見を同じシートに入力し、意見の統合を図る ・グループの意見を入力する
クロストーク	<ul style="list-style-type: none"> ・発表内容をプレゼンテーションソフトにまとめる ・電子黒板を使って発表する ・学習用PCで他のグループの意見を確認する
再度、一人で考える	<ul style="list-style-type: none"> ・再度「問い」に対する答えを入力する ・ワークシートを回収する

「知識構成型ジグソー法」においても、様々な場面でICTの使用は可能だということがわかります。しかし、どの場面でどのように使用するかは、授業の目標と照らし合わせて考える必要があります。